

総合観光学会会員活動状況

(2019年4月1日～2021年3月31日)

※氏名の五十音順に掲載

※各会員の自己申告に基づく研究活動および社会活動について、次のカテゴリーに分けて記載

- ①著作、②学会での口頭発表等、③科学研究費助成事業（文部科学省・日本学術振興会）の交付を受けた研究、④講演・セミナー等、⑤省庁、自治体等の委員会委員等

東 徹（立教大学）

①著作

東 徹（2021）「フードサービス・ビジネスの展開と課題～テクノロジーとヒューマンウェアの視点から～」『日本フードサービス学会年報』第25号

東 徹（2020）「新型コロナウイルス対策として観光業界がなすべきこと」『観光経済新聞』（2020年3月21日）

東 徹（2020）「研究レポート：『平成』時代の観光をふりかえる」『立教大学観光研究所ニューズレター 研究所だより』Vol.16

東 徹（2020）「民泊による地域振興の課題」『季刊 個人金融』2000年夏号（Vol.15, No.2）一般財団法人ゆうちょ財団

東 徹（2020）「これからの観光を考える①～⑩」『日本経済新聞』（やさしい経済学）連載、10月1日～15日

東 徹（2020）「コロナ禍における観光学部の対応—立教大学の例」『都市問題』2020年12月号（第111巻第12号）後藤・安田記念東京都市研究所

東 徹（2020）「日本の観光は立ち直れる

か？～インバウンドから国内観光、ワーケーションへ」『中央公論』2021年1月号

東 徹（2019）「民泊ビジネスの課題と観光・地域振興に向けた新たな可能性」『都市問題』2019年8月号（第110巻第8号）後藤・安田記念東京都市研究所

東 徹（2019）「民泊問題が日本の観光に問いかけるもの～民泊法施行1年に思う～」『住宅』2019年11月号（Vol.68）一般財団法人日本住宅協会

東 徹（2019）「観光と地域振興—平成時代を回顧し、令和時代の課題を考える—」『総合観光研究』第18号

②学会での口頭発表等

東 徹（2021）「コロナ禍と観光」統一論題シンポジウム（コーディネーター）、総合観光学会第37回全国学術研究大会（オンライン、2021年1月10日）

東 徹（2019）「観光と地域振興～平成時代を回顧し、令和時代の課題を考える～」総合観光学会第35回全国学術研究大会・観光立国フォーラム名古屋（於名古屋商工会議所、2019年6月22日）

④講演・セミナー等

「『観光まちづくり』の考え方～観光・地域振興のあり方を問い直す～」立教大学観光研究所観光地経営専門家育成プログラム（オンライン、2020年9月20日）

「ホスピタリティ・マネジメント講座オリエンテーション講義」立教大学観光研究所ホスピタリティ・マネジメント講座（オンライン、2020年9月22日）

「観光マーケティングと地域ブランド」立教大学観光研究所観光地経営専門家育成プログラム（於. オンライン、2020年10月4日）

「地域活性化に向けたマーケティングの考え方」（財）地域活性化センター第32期全国地域リーダー養成塾（於. WASEDA NEO、2020年11月19日～20日）

「地域活性化に向けたDMOの役割～地域の“稼ぐ力”を高める～」びわ湖の素DMO設立総会（オンライン、2020年11月20日）

「ホスピタリティ産業の課題と展望」立教大学観光研究所ホスピタリティ・マネジメント講座（オンライン、2020年12月15日）

「観光・地域振興と観光人材育成の課題」岐阜県観光人材研修センター開所式・記念講演会（於. 岐阜県観光人材育成研修センター、2019年5月17日）

「地域活性化に向けたマーケティングの考え方」（財）地域活性化センター第31期全国地域リーダー養成塾（於. 市町村アカデミー、2019年7月10日～11日）

「観光と地域振興～地方創生に向けた観光

の課題を考える～」台湾観光局研修会（The Research & Development Institute of Vocation Training R.O.C. and Tourism Bureau R.O.C. Training Program for Executives in Travel Agents）（於. 台北、2019年8月16日～17日）

「ホスピタリティ・マネジメント講座オリエンテーション講義」立教大学観光研究所ホスピタリティ・マネジメント講座（於. 立教大学、2019年9月21日）

「『観光まちづくり』の考え方～観光・地域振興のあり方を問い直す～」立教大学観光研究所観光地経営専門家育成プログラム（於. 立教大学、2019年9月22日）

「観光マーケティングと地域ブランド」立教大学観光研究所観光地経営専門家育成プログラム（於. 立教大学、2019年10月6日）

「日本における民泊ビジネスの展望」立教大学観光研究所ホスピタリティ・マネジメント講座（於. 立教大学、2019年10月19日）

「観光・地域づくりの動向と民泊の可能性」全国市町村国際文化研修所（JIAM）「民泊を活用したまちづくり」研修（於. 全国市町村国際文化研修所、2019年12月2日）

⑤省庁、自治体等の委員会委員等
山梨県観光推進会議座長（2018年度～現在）
釜石市観光審議会顧問（岩手県釜石市：2018年度～現在）
港区観光振興ビジョン検討委員会委員長（2020年度）
世田谷区住宅宿泊事業検討委員会副委員長（2019年度）

昇仙峡リバイバル会議座長(山梨県甲府市:
2019年度)

麻生 憲一 (立教大学)

①著作

麻生憲一・長橋透(2020)「主要旅行業者の旅行取扱額と市場集中度」『立教大学観光学部紀要』,第22号

麻生憲一(2020)「第10章 経済学の視点」『観光学ガイドブック(第7刷)』ナカニシヤ出版(共著)

張 茜・麻生憲一(2020)「地方鉄道における観光列車の現状と課題に関する一考察」『日本観光学会誌』第61号

麻生憲一(2020)「書評『Community-based Rural Tourism and Entrepreneurship: A Microeconomic Approach』」『日本観光学会誌』第61号

麻生憲一(2020)「道の駅の経済学」『経済セミナー』No.712 日本評論社(2月3月合併号)

麻生憲一(2019)「観光におけるバンドワゴン効果とスノップ効果」「不確実性と観光者の分類」「持続可能な観光」白坂蕃・稲垣勉・小沢健市・古賀学・山下晋司編集『観光の事典』朝倉書店、所収

麻生憲一・津田康英(2019)「『道の駅』登録と経済的効果」『立教大学観光学部紀要』第21号

②学会での口頭発表等

麻生憲一(2021)「コロナ禍で宿泊客の行動はどう変わったか?—行動経済学からのアプローチ—(オンライン、芝浦工業大学、2021年3月26日)

麻生憲一(2019)「自治体アンテナショップの実態分析」日本観光学会中部支部会

(於:愛知大学、2019年12月8日)

③科学研究費助成事業(文部科学省・日本学術振興会)の交付を受けた研究

麻生憲一・津田康英「道の駅を拠点とした観光振興モデルの構築と経済効果に関する研究」学術研究助成基金助成金(2019~2021) NO.19K12563(代表)

津田康英・麻生憲一「土産品を確立・存続させる要因と観光振興の経済効果」学術研究助成基金助成金(2016~2020) NO.16K02076(分担)

④講演・セミナー等

「“観光を通じた地方創生のSDGs達成に貢献”に関する内閣府勉強会」(JTB総合研究所、2019年度4回、2020年度5回)

⑤省庁、自治体等の委員会委員等

新座市都市計画マスタープラン改定検討委員会委員(2019~2020年度)

奈良県御杖村総合戦略検証委員会委員長(2016~2020年度)

奈良県桜井市地域ブランド認定推進委員会委員(2015~2019年度)

奈良県建築審査会委員(2014~2020年度)

阿部 秀明 (北海商科大学)

①著作

永吉大介・相浦宣徳・阿部秀明(2020)「北海道農産品輸送のパレット化推進に関する研究—パレットをつなぐ「縦」の連携・共通の道具とする「横」の連携—」『日本物流学会誌』,第28号

阿部秀明(2019)「食糧基地北海道を支える物流の役割」『フロンティア農業経済研究』第22巻,第1号

相浦宣徳・阿部秀明・他(2019)「北海道物

流の課題と農業分野への影響～物流分野から農業分野への問題提起～』『フロンティア農業経済研究』第22巻,第1号
永吉大介・阿部秀明・他 (2019)「新たな物流課題が農業生産地域・富良野に及ぼす影響について」『フロンティア農業経済研究』,第22巻,第1号

②学会での口頭発表等

永吉大介・相浦宣徳・阿部秀明 (2019)「北海道農業分野におけるパレット化推進に関する一考察」第36回日本物流学会全国大会(於. 関西大学千里山キャンパス,2019年9月19日～20日)

③科学研究費助成事業(文部科学省・日本学術振興会)の交付を受けた研究

阿部秀明・相浦宣徳・伊藤寛幸「食料基地北海道を支える物流ネットワークの課題と強靱化に向けた戦略」2019年度～2021年度 基盤研究(C) 課題番号19K06261(代表)

相浦宣徳・阿部秀明・伊藤寛幸「地域と地域をむすび、地域経済を支える「物流ネットワーク」の強靱化にむけて」2019年度～2021年度 基盤研究(C) 課題番号19K01941(分担)

⑤省庁、自治体等の委員会委員等

遠軽町都市計画審議会副会長(2020年度)

岩原 紘伊(東京大学)

①著作

岩原紘伊(2020)『村落エコツーリズムをつくる人びとーバリの観光開発と生活をめぐる民族誌』風響社

岩原紘伊(2020)「インドネシア・バリの文化的景観ー世界遺産とコミュニティのレジリエンス」『文化人類学』85巻第2

号(特集論文)

②学会での口頭発表等

Hiroi Iwahara (2020) “‘Tourism Disasters’ and Community Resilience in the World Heritage Site of Bali, Indonesia”, The 2nd Critical Tourism Studies Asia Pacific Conference, Wakayama University, 19 February 2020

③科学研究費助成事業(文部科学省・日本学術振興会)の交付を受けた研究

岩原紘伊「現代バリの<市民社会>と観光開発反対運動に関する民族誌的研究」2019年度科学研究費補助金若手研究 No. 19K13466

大江 靖雄(東京農業大学)

①著作

Richard Qiu, Doris Wu, Vincent Dropsy, Sylvain Petit, Stephen Pratt, and Yasuo Ohe (2021) Visitor arrivals forecasts amid COVID-19: A perspective from the Asia and Pacific team, *Annals of Tourism Research*, 88

Miriam Scaglione, Yasuo Ohe, and Colin Johnson (2021) Tourism management in Japan and Switzerland: Is Japan leapfrogging traditional DMO’s models? (W. Wörndl, C. Koo and J. L. Stienmetz eds.) *A Research Agenda Information and Communication Technologies in Tourism 2021*, Springer Nature.

Yasuo Ohe (2020) *Community-based Rural Tourism and Entrepreneurship: A Microeconomic Approach*, Singapore: Springer Nature.

- Yasuo Ohe (2021) Investigating farmer's identity and efficiency of tourism-oriented farm diversification, *Tourism Economics*, online first version.
- Yasuo Ohe (2020) Exploring a way forward for rural tourism after the corona pandemic, *Journal of Global Tourism Research*, 5(2)
- Kumar Bhatta and Yasuo Ohe (2020) A review of quantitative studies in agritourism: the implications for developing countries, *Tourism and Hospitality*, 1
- Kumar Bhatta, Yasuo Ohe, and Adriano Ciani (2020) Which human resources are important for turning agritourism potential into reality? SWOT analysis in rural Nepal, *Agriculture*, 10(197)
- Miho Fukui and Yasuo Ohe (2020) Assessing the role of social media in tourism recovery in tsunami-hit coastal areas in Tohoku, Japan, *Tourism Economics*, 26(5)
- Shohei Kurata and Yasuo Ohe (2020) Competitive structure of accommodations in a traditional Japanese hot springs tourism area, *Sustainability*, 12(3062)
- 室井椋太郎・大江靖雄 (2020) 「水産物直売所の来訪者における回遊と購買行動—千葉県銚子市を対象として—」『農業経営研究』 58(2)
- 大江靖雄 (2019) 「観光者の観光地選択」白坂蕃・稲垣勉・小沢健市・古賀学・山下晋司編集『観光の事典』朝倉書店、所収
- 八尾奮・大江靖雄・加藤恵里 (2019) 「ジビエ料理の価格決定要因 —首都圏における飲食店を対象として—」『日本観光学会誌』 60
- 三津山京・大江靖雄 (2019) 「茶販売事業者の6次産業化に向けた多角的事業展開への意識と要因 —静岡県を対象として—」『総合観光研究』 18
- 河原崎滉一郎・大江靖雄 (2019) 「北海道産銘菓に関するオンライン購買行動とその要因」『総合観光研究』 18
- 小嶋悠太郎・大江靖雄 (2019) 「北海道における稲作農業法人の6次産業化—ネット直販による米の価格決定要因—」『総合観光研究』 18
- 奥本夏実・大江靖雄 (2019) 「米ギフトの購入頻度とその要因」『日本観光学会誌』 60
- 大江靖雄 (2019) 「酪農教育ファームにみる農村資源の可能性と課題」『農村計画学会誌』 38(2)
- Eri Kato, Yuki Yano, and Yasuo Ohe (2019) Investigating gaps in perception of wildlife between urban and rural inhabitants: Empirical evidence from Japan, *Sustainability*, 11(17)
- Kumar Bhatta, Keishiro Itagaki, and Yasuo Ohe (2019) Determinant factors of farmers' willingness to start agritourism in rural Nepal, *Open Agriculture*, 4
- Kumar Bhatta and Yasuo Ohe (2019) Farmers' willingness to establish community based agritourism: evidence from Phikuri village, Nepal, *International Journal of Tourism Sciences*, 19(2)

- 大江靖雄 (2019)「持続的農村ツーリズムの展開に向けての課題 コミュニティ・ベース・ツーリズムの視点から」『農村計画学会誌』38(1)
- 田村莉久・大江靖雄「「道の駅」の経営効率性分析 一群馬県を対象として」『農林業問題研究』55(3)
- ②学会での口頭発表等
- 大江靖雄 (2021)「コロナ禍がもたらす農村観光の展開方向－ワーケーションとマイクロ・ツーリズムへの意識調査から－」総合観光学会第37回全国学術研究大会 (オンライン、2021年1月10日)
- Ryuing Wang, Kumar Bhatta, and Yasuo Ohe (2021)「Evaluating rural tourism operator's satisfaction: evidence from Taining, Fujian Province, China」総合観光学会第37回全国学術研究大会 (オンライン、2021年1月10日)
- 武田史織・大江靖雄 (2020)「都市型マルシェ出品者の売上満足度とその要因」第70回地域農林経済学会大会 (オンライン、2020年10月11日)
- Kumar Bhatta and Yasuo Ohe (2019)「Quantitative methods applied in agritourism research: A review」愛知大学経営学会ワークショップ (於. 愛知大学、2019年12月8日)
- 王如穎・大江靖雄 (2019)「中国における農家兼営者の満足度評価－福建省泰寧県を対象として－」愛知大学経営学会ワークショップ (於. 愛知大学、2019年12月8日)
- 三津山京・大江靖雄 (2019)「茶販売事業者の6次産業化に向けた多角的事業展開への意識と要因－静岡県を対象として－」総合観光学会第36回全国学術研究大会 (於. 拓殖大学、2019年11月16日)
- 小嶋悠太郎・大江靖雄 (2019)「北海道大規模稲作農業法人の6次産業化－農業法人のネット直販価格の要因分析－」総合観光学会第36回全国学術研究大会 (於. 拓殖大学、2019年11月16日)
- Yasuo Ohe (2019)「On the sustainable development of agri-tourism: lessons from 25 years of comparative study between Japan and Italy」Giornata Mondiale Del Turismo (於. モンテカステリリ:イタリア、2019年9月27日)
- Yasuo Ohe(2019)「Does operator's identity make a difference in efficiency in dairy farms performing educational tourism? A slacks-based measure DEA approach」7th Conference of the International Association for Tourism Economics (於. ラプラタ:アルゼンチン、2019年9月6日)
- QuiBin Liang, Yasuo Ohe, and Nicolas Peypoch(2019)「Productivity measurement of Japanese accommodation firms with input complementarities」7th Conference of the International Association for Tourism Economics (於. ラプラタ:アルゼンチン、2019年9月4日)
- Yasuo Ohe (2019)「Issues of farmer's identity and efficiency of tourism-oriented diversification: Revised from a perspective of behavioural economics」69th Aiest Conference (於. ヴァル

- ナ：ブルガリア、2019年8月28日)
 Yasuo Ohe (2019) 「New policy framework on rural tourism in Japan: Features and challenges」Asia Pacific Tourism Association 2019 Conference (於. ダナン：ベトナム、2019年7月3日)
 Kumar Bhatta, Yasuo Ohe, Adriano Ciani, and Keishiro Itagaki (2019) 「Investigating triggers for agritourism development in rural communities: evidence from Nepal」2019年度地域農林経済学会国際化担当・近畿支部 共催ワークショップ (於. 龍谷大学大阪梅田キャンパス、2019年7月7日)
 河原崎滉一郎・大江靖雄 (2019) 「北海道産銘菓に関する海外からのオンライン購買行動と訪日経験ー若年層中国人を対象としてー」総合観光学会第35回全国学術研究大会 (於. 名古屋商工会議所、2019年6月23日)
 八尾 奮・大江靖雄・加藤恵理 (2019) 「首都圏における飲食店におけるジビエ料理の価格決定要因」日本観光学会第113回全国大会 (於. 立教大学池袋キャンパス、2019年6月8日)
 Yasuo Ohe and Shohei Kurata (2019) 「Competitive structure of onsen (hot springs) tourism area: A spatial econometric evaluation」The 2nd Global Congress of Special Interest Tourism and Hospitality (Glosith) (於. 台北：台湾、2019年4月20日)
 Kumar Bhatta, Yasuo Ohe, Adriano Ciani, and Keishiro Itagaki (2019) 「Exploring agritourism development strategies in Nepal: A SWOT approach」The 2nd Global Congress of Special Interest Tourism and Hospitality (Glosith) (於. 台北：台湾、2019年4月21日)
 ③科学研究費助成事業(文部科学省・日本学術振興会)の交付を受けた研究
 大江靖雄「農村コミュニティ・ベース・ツーリズムの新展開とソーシャル・インパクト」2018年度～2022年度科学研究費補助金 No.18H03965 (代表)
 小口孝司「ツーリズムの心理的効果に関する研究」2020年度～2022年度科学研究費補助金 No. 20H04444 (分担)
 佐藤和憲「農業法人の多角化戦略が地域に与える経済的・社会的影響の定量分析評価手法の開発」2020年度～2022年度科学研究費補助金 No. 20H03086 (分担)
 後藤田 宏也「食育を通じた乳幼児の母子保健と保育の地域包括・多職種連携の教育と支援に関する研究」2020年度～2022年度科学研究費補助金 No. 20K02684 (分担)
 ④講演・セミナー等
 「Exploring new trend of rural tourism: insights and implications」The 2020 International Seminar The City of New Civilization, Saemangeum」(於. 韓国、オンライン、2020年9月23日)
 「農泊ビジネスの確立にむけてーその政策的背景とねらいー」農林漁家・農山漁村を元気にする農泊ビジネスセミナー & 農泊ビジネス交流会 (於. 千葉教育会館、2020年2月18日)
 「我が国農村ツーリズムの可能性と課題について」2019年度新たな知と方法を生む土日集中セミナー 人と地域がつな

がる農山漁村ツーリズム～人を呼び込むマーケティング戦略～(於. 地域活性化センター、2020年2月1日)

「イタリア・アグリツーリズムの特徴と制度的枠組み」アグリツーリズム勉強会(於. 農林水産省、2020年1月31日)

「北海道における農泊取組の可能性と課題について」農たび・北海道ネットワーク研修会(於. 札幌市TKP札幌カンファレンスセンター、2019年12月3日)

⑤省庁、自治体等の委員会委員等(海外含む)農林水産省農山漁村振興交付金事業評価委員会委員長(2018年度～)

内閣府地方創生推進交付金評定委員(2016年～)

内閣府地域における大学振興・若者雇用創出事業評価委員会委員(2018年度～)

千葉県卸売市場審議会委員(2015年度～2019年度)

千葉県農政審議会会長(2008年度～)

Land トピックエディター(2020年度～)

Journal of Tourism Leisure and Hospitality 編集委員(2019年度～)

Asia Pacific Tourism Association 理事(2018年度～)

Journal of Global Tourism Research 編集委員(2016年度～)

Revista Anais Brasileiros De Estudos Turísticos / ABET 編集委員(2016年度～)

Tourism Economics 編集委員(2015年度～)

Rivista de Turism 編集委員(2014年度～)

Advances in Hospitality and Tourism Research (AHTR) 編集委員(2014年度～)

Enlightening Tourism 編集委員(2011年度～)

QATEM(Quantitative Approach in Tourism

Economics and Management) 理事(2010年度～)

小川 雅司(大阪産業大学)

①著作

小川雅司・江川誠一(2020)「第10章 地域観光モデル:観光まちづくりモデル」、原田保・三浦俊彦・古賀広志編『地域デザインモデルの研究:理論構築のための基本と展開』、学文社

小川雅司(2019)「第7章 戦国武将を活用した大東市のコンテクスト転換:信長に先駆けた天下人・三好長慶を捉えて」、原田保・石川和男・小川雅司編『地域マーケティングのコンテクスト転換:コンステレーションのためのSSRモデル』、学文社

②学会での口頭発表等

小川雅司(2021)「泉州地域の食と観光経済:1周遅れの先頭を目指して」、地域デザイン学会第1回合同フォーラム(於:株式会社博展、2021年1月30日)

小川雅司(2021)「コロナ禍と観光」統一論題シンポジウム(パネリスト)、総合観光学会第37回全国学術研究大会(オンライン、2021年1月10日)

小川雅司(2020)「外部不経済論からみた『Go To トラベル事業』の評価」、日本都市学会第67回大会(於:オンライン、2020年11月1日)

小川雅司(2020)「観光まちづくりにおける外部不経済に関する一考察」、地域デザイン学会第9回全国大会(於:株式会社博展、2020年9月26日)

小川雅司・江川誠一(2020)「『観光まちづくり』モデル=コミュニティによる地

域資源の価値発現」、地域デザイン学会
第1回全国地域合同部会（於：専修大
学、2020年1月25日）

小川雅司（2019）「シニア層による観光行動
の実態分析：シニア層は本当に活発に
観光旅行に出かけているのか」、日本福
祉文化学会第30回全国大会（於：中京
大学、2019年12月1日）

小川雅司・笹井浩（2019）「二次交通として
の自転車の活用と『散走』：大阪府堺市
の事例を中心として」、日本交通学会関
西部会11月例会（於：中央電気倶楽部、
2019年11月1日）

小川雅司（2019）「歴史的人物を活用した地
域価値創造に関する一考察」、日本都市
学会第66回大会（於：広島JMSアス
テールプラザ、2019年10月26日）

小川雅司（2019）「大阪府大東市における地
域資源の価値発現：三好長慶と飯盛城
址を中心に」、近畿都市学会2019年度
春季大会（於：大阪産業大学、2019年
7月6日）

⑤省庁、自治体等の委員会委員等
西宮市文化財保存活用地域計画協議会副会
長（2020年度）

大阪府大規模小売店舗立地審議会副会長
（2018～2020年度）

太子町地域公共交通会議会長（2018～2020
年度）

大阪地方労働審議会臨時委員〔港湾労働部
会公益代表委員〕（2017～2020年度）

岸和田市観光振興計画推進委員会副委員長
（2016～2020年度）

高石市羽衣駅東地区まちづくり推進協議会
委員（2011～2020年度）

海生 直人（広島修道大学）

①著作

海生直人（2021）「A Study on Continuous
and Discrete Distributions Block
Replacement Policies Taking Account
of Free Warranty Interval」Kyushu
University Press（分担執筆）in 『New
Approaches for Operations Research
and Applied Economics』, edited by J.
Maeda, K. Okamura and H. Dekihara.

海生直人（2021）「割引率を伴う故障が定周
期保全時点でのみ発見され無償保証期
間を考慮したブロック取換え政策に関
する一考察」『経済科学研究』第2号

海生直人（2020）「割引率を考慮した小修
理およびランダムな計画期間を伴うブ
ロック取換え政策に関する一考察」『経
済科学研究』第1号

③科学研究費助成事業（文部科学省・日本学 術振興会）の交付を受けた研究

高濱節子・海生直人「非線形最適化問題に対
する安定的かつ効率的な集団的最適化
手法に関する研究」科学研究費助成事
業（基盤研究（C）（一般））2019年4月
～2023年3月（共同）

鈴木 富之（宇都宮大学）

①著作

尾崎菜々子・鈴木富之（2021）「来訪者の購
買行動からみた八戸市「館鼻岸壁朝市」
の存立基盤」『地域デザイン科学』第9号

鈴木富之（2021）「小山市におけるモニター
ツアーの実践と大学生による観光資源
の評価」『総合観光研究』第19号

鈴木富之（2020）「首都圏外縁部における観
光地域の形成」地域デザイン科学研究

会編『地域デザイン思考—地域と向き合う 82 のテーマ』北樹出版

鈴木富之 (2020) 「日本における新しい観光の特徴」地域デザイン科学研究会編『地域デザイン思考—地域と向き合う 82 のテーマ』北樹出版

半澤佑紀・鈴木富之 (2020) 「仙台市秋保温泉における訪日外国人観光客の受け入れ態勢」『地域デザイン科学』第 8 号 (論文・共著)

鈴木富之・桂野 葵・佐藤綾香・田岡龍人・田坂志保里・渡邊大誠 (2020) 「宇都宮大生における余暇活動の特徴—2019 年度宇都宮大学地域デザイン科学部「社会調査実習」成果報告」『地域デザイン科学』第 8 号

森田裕一・鈴木富之 (2019) 「渡良瀬遊水地第 2 調節池におけるヨシ焼きの集客圏と来訪者の行動特性」『地域デザイン科学』第 6 号

鈴木富之・鈴木達也・大木智哉・黒後達也・黒柳ひろと・高橋 遼・伊藤良真・大森悠司・後藤憲二・塚田貴大・出口侑樹・藤又由紀夫 (2019) 「宇都宮市中心部における土地利用の特徴—2018 年度宇都宮大学地域デザイン科学部「社会調査実習」成果報告第 4 報」『地域デザイン科学』第 6 号

④講演・セミナー等

「アクティブラーニングを体験しよう」作新学院高等学校トップ英進・英進部 高大連携講座「観光」(於. 作新学院高等学校 2020 年 12 月 19 日)

「日本における新しい観光」作新学院高等学校トップ英進・英進部 高大連携講座「観光」(於. 作新学院高等学校 2020

年 12 月 12 日)

「日本の観光産業のインバウンドの展望」宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター・日光国際交流協会主催 国際交流都市日光の再発見—日本のインバウンドについて留学生と考える (オンライン、2020 年 12 月 5 日)

「大学生と観光まちづくり—小山市・渡良瀬遊水地を事例として」作新学院高等学校トップ英進・英進部 高大連携講座「観光」(於. 作新学院高等学校 2020 年 11 月 14 日)

「地域資源を活かした新しい観光振興の特徴」茨城県立下館第一高等学校紫西プレカレッジ (於. 下館第一高等学校、2019 年 9 月 18 日)

「平成 30 年度「渡良瀬遊水地地域デザイン作成」に関する研究業務委託成果」小山市宇都宮大学連携事業「渡良瀬遊水地」研究成果発表会 (於. 小山市立生井公民館、2019 年 4 月 26 日)

⑤省庁、自治体等の委員会委員等

小山市渡良瀬遊水地第 2 調節池エコミュージアム推進懇話会委員 (2020 年度)

那須塩原市気候変動対策局「国民参加による気候変動情報収集・分析支援業務委託」観光業における情報収集担当 (2020 年度)

那須塩原市シティプロモーション推進懇話会委員 (2019~2020 年度)

須田 寛 (東海旅客鉄道㈱ 相談役)

①著作

鉄道友の会編 (2020) 『鉄道と切手』交通新聞社

JAPAN NOW 観光情報協会編著 (2019) 『新

- 世代の観光立国』交通新聞社
- ④講演・セミナー等 (2020 年度のみ記載)
- 「自粛と今後の観光施策」JAPAN NOW 観光情報協会 (於. 海事センタービル、2020 年 5 月 18 日)
- 「感染症収束後における観光のあり方について」静岡県商工会連合会 (於. 静岡県産業経済会館、2020 年 9 月 14 日)
- 「あすの京都交通システム確立をめざして」鉄道友の会・京都支部 (於. 京都アスニ、2020 年 9 月 20 日)
- 「鉄道と観光」鉄道友の会・青森支部 (於. 八戸パークホテル、2020 年 9 月 26 日)
- 「『駅』と『駅名』を考える」大阪府高齢者大学校 (於. アネックス パル法円坂、2020 年 10 月 16 日)
- 「これからの産業観光ー京浜臨海地帯の観光を考えるー」京浜臨海部産業観光推進協議会 (於. パシフィコ横浜、2020 年 10 月 28 日)
- 「産業観光学」富山大学 (於. 富山大学五福キャンパス、2020 年 11 月 2 日)
- 「企業経営と会計の役割」同志社会計人会 (於. 同志社大学今出川キャンパス、2020 年 11 月 4 日)
- 「新型コロナ収束 (終息) を見据えた観光の在り方」JAPAN NOW 観光情報協会 (於. 海事センタービル、2020 年 11 月 13 日)
- 「鉄道の果たした役割とこれからの鉄道ー予土線を中心に考えるー」愛媛県鬼北町役場 (於. 近永公民館、2020 年 11 月 17 日)
- 「敗戦直後の“広鉄局”に学ぶ (昭和 21~23 年度)」鉄道友の会・中国支部 (於. 広島市西区民文化センター、2020 年 11 月 21 日)

- 「ものづくり経済論」名古屋学院大学 (於. カーネルコンセプト、2020 年 12 月 11 日)
- 「おほりのまち「堺」おほりのみち「堺・百舌鳥(もず)」をみつめ直すー堺の魅力再発見ー」日本観光振興協会 (於. フェニーチェ堺、2020 年 1 月 9 日)
- ⑤省庁、自治体等の委員会委員等
- 日本商工会議所観光専門委員会学識委員
日本観光振興協会全国産業観光推進協議会
会長
鉄道友の会会長

堂下 恵 (多摩大学)

- ①著作
- 堂下恵 (2020) 「地域活性化におけるコミュニティ内企業の複数の役割」八巻恵子編『企業経営のエスノグラフィ』東方出版。
- 堂下恵 (2020) 「世界遺産・富士山のレジリエントな文化的景観」『文化人類学』第 85 巻 2 号
- 堂下恵 (2019) 「スタディーツーリズム」「ニューツーリズム」「グリーンツーリズム」白坂蕃・稲垣勉・小沢健市・古賀学・山下晋司編集『観光の事典』朝倉書店、所収
- ②学会での口頭発表等
- Megumi Doshita 'Mount Fuji as a World Cultural Heritage site in Japan', presented at the 2nd International Conference of Critical Tourism Studies Asia Pacific, Wakayama University, 17-19 February 2020.
- ④講演・セミナー等
- 研究紹介「文化的景観の観光利用と保全、イ

ンバウンドによる地域観光振興」、「美山×交流つながる集会」（於京都丹波高原国定公園ビジターセンター、2020年2月）

「外国人から見た藤沢」、「東京2020大会藤沢市・都市ボランティア選択研修」（於藤沢市役所本庁舎、2019年10月）

中村 哲（玉川大学）

①著作

中村哲(2021)「日本の大学におけるオンライン授業をめぐる現状と課題」『観光ホスピタリティ教育』第14号(特集論文)

中村哲(2021)「テーマパークの観光」「観光と物販」竹内誠・白坂蕃・新井博編集『郷土史大系 観光・娯楽・スポーツ』朝倉書店、所収

中村哲(2020)「新型コロナウイルス感染症影響後の日本人の海外旅行の意思決定プロセス：計画的行動理論を拡張したモデルによる試行」『第35回日本観光研究学会学術論文集』

中村哲(2020)「日本人の海外旅行の実態と意識の居住地による比較」『玉川大学観光学部紀要』第7号

牛暁雪・中村哲(2019)「中国人若者の訪日旅行前の情報探索の実態」『第34回日本観光研究学会全国大会学術論文集』

中村哲(2019)「若者の海外旅行の実態と意識に関する時系列比較2：2016年調査と2019年調査の比較」『玉川大学観光学部紀要』第6号

中村哲(2019)「観光主体」「観光動機」白坂蕃・稲垣勉・小沢健市・古賀学・山下晋司編集『観光の事典』朝倉書店、所収

②学会での口頭発表等

中村哲(2021)「観光行動研究から見たツーリストのリテラシー：旅行のためのリテラシーと旅行から得られるコンピテンシー」観光学術学会第8回研究集会シンポジウム報告（オンライン、2021年2月21日）

中村哲(2020)「オンライン授業の取り組みと課題」日本観光ホスピタリティ教育学会2020年度総会・シンポジウムパネリスト（オンライン、2020年9月19日）

中村哲(2019)「日本人若者の海外体験中の感情の変化に関する分析」観光学術学会第8回大会（於、立命館アジア太平洋大学、2019年7月7日）

④講演・セミナー等

「青少年の海外旅行の現状に関する分析」国立国会図書館調査及び立法考査局令和2年度総合調査に関する講義（於、国立国会図書館本館、2020年9月11日）

「若者の海外旅行の動向：地方からの視点も含めて」令和元年度新潟空港整備推進協議会通常総会（於、ホテル日航新潟、2019年7月9日）

花井 友美（帝京大学）

②学会での口頭発表等

Tomomi Hanai, Kaoru Yashiro, & Hisako Konno (2019)「Photogenic Tourism as Self-Presentation」2019 APacCHRIE & EuroCHRIE Joint Conference（於、Hotel ICON, Hong Kong、2019年5月24日）

花井友美・八城薫・今野久子(2019)「フォトジェニックな旅の特徴—SNSに旅行写真を投稿する心理的背景と旅行先の

選択プロセス」第34回日本観光研究学会全国大会(於. 名桜大学、2019年12月14日)

今野久子・八城薫・花井友美(2019)「地域資源を活かす観光体験としてのロケーションフォトウェディングの特徴—香港からのインバウンドによるロケーションフォトウェディングを事例として—」第34回日本観光研究学会全国大会(於. 名桜大学、2019年12月14日)

野口洋平・金振晩・花井友美(2019)「東アジアにおける『ボーダーレス観光』実現の諸条件をめぐる視点—台湾・韓国での有識者へのヒアリング調査結果—」第34回日本観光研究学会全国大会(於. 名桜大学、2019年12月14日)

③科学研究費助成事業(文部科学省・日本学術振興会)の交付を受けた研究

花井友美・八城薫・今野久子「『こだわり』の旅が自分らしさの感覚に与える影響:『フォトジェニックな旅』の効果」2018~2020年度科学研究費助成金(基盤研究(C)) No.18K11877(共同)

野口洋平・金振晩・花井友美「東アジアにおけるボーダーレス観光推進に向けたフレームワークの構築に関する研究」2018~2020年度科学研究費助成金(基盤研究(C)) No.18K11847(共同)

鈴木涼太郎・金振晩・花井友美「観光みやげにおける贈答コミュニケーションに関する研究」2020~2022年度科学研究費助成金(基盤研究(C)) No.20K12431(共同)

小口孝司・大江靖雄・花井友美・川久保惇・浦川邦夫「ツーリズムの心理的効果に関する研究」2020~2022年度科学研究

費助成金(基盤研究(B)) No.20H04444(共同)

④講演・セミナー等

「観光商品の開発手法①」東京都と連携した観光経営人材育成講座(於. 帝京大学、2020年12月12日)

「観光商品の開発手法①」東京都と連携した観光経営人材育成講座(於. 帝京大学、2019年12月21日)

福島 規子(九州国際大学)

①著作

「道標 経営のヒント」観光経済新聞コラム連載(月1回)1991年3月9日~継続中

②学会での口頭発表等

福島規子(2021)「コロナによる観光の影響と課題~九州地区の宿泊業を中心として~」(シンポジウムパネリスト)、総合観光学会第37回全国学術研究大会(オンライン、2021年1月10日)

④講演・セミナー等

「おもてなしの心づくり」北九州市年長者研修大学校周望学舎(於. 北九州市年長者研修大学校周望学舎、2021年1月22日)

⑤省庁、自治体等の委員会委員等

北九州市景観審議会委員(2020年度)

関門景観審議会県観光振興委員会委員(2020年度)

公益財団法人北九州市どうぶつ公園協会評議委員(2020年度)

中村国際ホテル専門学校 教育課程編成委員会委員(2020年度)

中村国際ホテル専門学校 学校関係者評価委員会(2020年度)

古本 泰之 (杏林大学)

①著作

古本泰之(2021)「観光地の美術館・博物館」
竹内誠・白坂蕃・新井博編集『郷土史大系 観光・娯楽・スポーツ』朝倉書店、所収

岡本伸之・古本泰之(2021)「観光とホスピタリティ産業」竹内誠・白坂蕃・新井博編集『郷土史大系 観光・娯楽・スポーツ』朝倉書店、所収

井上晶子・大久保隆・古本泰之(2021)「高齢社会人向けのアクティブラーニング科目の成果と課題—「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」での学習と実践活動を通じて—」『観光ホスピタリティ教育』第14号

古本泰之・井上晶子(2020)「被災地の観光まちづくりにおける「地域の文脈」の影響—岩手県釜石市と福島県相馬市における活動主体の比較を通じて—」『杏林大学研究報告』第37巻

古本泰之(2020)「日本における「観光施設」としての美術館の分布と展示内容の傾向—旅行ガイドブック掲載施設を事例とした試論—」『杏林大学外国語学部紀要』第32号

古本泰之・安島博幸(2020)「リゾート・観光地における芸術家の長期的滞在と観光的魅力の創造—類型化を通じた研究課題の整理—」『長期滞在型・ロングステイ観光論集』Vol.4

③科学研究費助成事業(文部科学省・日本学術振興会)の交付を受けた研究

古本泰之「地域内での美術館の集積を活用したアートによる観光振興の可能性に

関する研究」2019年度科学研究費補助金 No. 19K12585

⑤省庁、自治体等の委員会委員等

羽村市生涯学習審議会会長(2020年度)
八王子市地域コミュニティ施設等指定管理者候補者選定のための評価会議委員(2020年度)

調布市ふれあいの家候補者選定審査委員会委員長(2019年度)

大学コンソーシアム八王子・産学公連携事業部会部会長(2019年度・2020年度)

八王子市「伝統文化ふれあい事業」実行委員会委員長(2019年度・2020年度)

三鷹市町会等地域自治組織活性化事業選考委員会副委員長(2019年度・2020年度)

東京2020大会等に向けた三鷹地域連携会議委員(2019年度・2020年度)

山下晋司(東京大学・名誉教授)

①著作

山下晋司(2020)「序」(特集文化遺産、ツーリズム、防災)『文化人類学』85(2)
白坂蕃・稲垣勉・小沢健市・古賀学・山下晋司編集(2019)『観光の事典』朝倉書店
山下晋司(2019)「文化遺産、ツーリズム、防災—京都を事例として」『総合観光研究』18

②学会での口頭発表等

Shinji Yamashita (2020) “Critical Tourism Studies: A View from Japan.” The 2nd International Conference of Critical Tourism Studies Asia Pacific (Keynote Panel, Wakayama University, 17-19 February, 2020).

Shinji Yamashita (2019) “Cultural Resilience: Heritage Tourism and

Disaster Risk Management in Japan.”
International Academy for the Study of
Tourism Biennial Conference (Bali
Tourism Institute, 6-11 May, 2019).

山下晋司 (2019) 「文化遺産、ツーリズム、
防災——京都を事例として」総合観光学
会第 35 回全国学術研究大会・観光立国
フォーラム名古屋 (於.名古屋商工会議
所、2019 年 6 月 22 日)

③科学研究費助成事業(文部科学省・日本学
術振興会) の交付を受けた研究

関谷雄一・山下晋司他「東日本大震災の公共
人類学的研究——レジリエントな社会
の構築」科学研究費補助金基盤研究(B)、
2019~2021 年度、(分担)

④講演・セミナー等

「(ポスト) コロナ時代の観光——レジリエ
ンスの観点から」旅と観光研究ネット
ワーク：コロナ禍／緊急事態宣言下
における旅と観光についての新たなる研
究課題 (オンライン、2020 年 5 月 23
日)

⑤省庁、自治体等の委員会委員等

NPO 法人「人間の安全保障」フォーラム会
長 (2019 年度~現在) .